

ハンガリー政府観光局 ニュース 2011年5月26日 No207

- **ブダペスト市内、広場名の改称**
- **ブダ王宮の新たなアトラクション、スペイン乗馬学校公演**
- **TBSの番組「The 世界遺産」でブダペストを放送 5月29日 18時**
- **世界自然遺産アッグテレクとスロヴァキア・カルスト洞窟(2)**
- **【コラム】ハンガリーのバカンス**

ブダペスト市内、広場名の改称

ブダペスト市議会は、4月末に市内の一部の広場などの名称を変更することを議決し、5月から具体的に表示の変更が開始されました。

旅行で訪れる方にも知っていただきたい改称された広場名は次の通りです。

- **モスクワ広場 → セール・カールマン広場 (Széll Kálmán tér)**

ブダ側の交通の要衝：地下鉄(M2)、トラム(4、6、18、59、61番)、バス(16、116番など多数)が集まる。

- **ルーズベルト広場 → セーチェーニ・イシュトヴァーン広場 (Széchenyi István tér)**

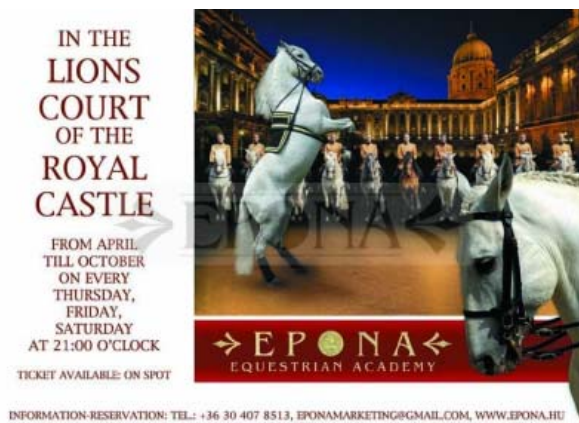
くさり橋のペスト側のたもと：トラム(2番)、バス(16、105番)、リバーライド (RiverRide) 市内観光バスや空港行き (Weekendbus) バスの乗り場がある。

ブダ王宮の新たなアトラクション、スペイン乗馬学校公演

EOPNA スペイン乗馬学校は、5月から10月まで、ブダ城のライオンの中庭 (Oroszlános udvar) で、毎週火・金・土の21時から、馬術公演を開始しました。

EPONA スペイン乗馬学校は、1939年創立のハンガリー近衛騎馬隊を前身とし、一時失われていた伝統を再現するために、アンダルシア馬を輸入繁殖し2009年から公演を始めました。(ライオンの中庭は、ブダペスト歴史博物館前の中庭)

チケットは、大人 6,000HUF で、王宮で購入可能。



TBSの番組「The 世界遺産」でブダペストを放送 5/29

TBSは5月29日(日) 18時から番組 The 世界遺産で「ドナウの真珠 誕生物語」を放送します。さらに6月4日(土)17時からBS-TBSで再放送されます。

世界自然遺産アッグテレクとスロヴァキア・カルスト洞窟群(2)

(2) アクセス

アッグテレクへは、ブダペストやミシュコルツからバスや鉄道を乗り継いで行くことができます。

なお、バス時刻は季節と曜日により運行が大幅に異なるので、利用しやすい時刻のみを掲載しています。

1. ツアーコース最寄りのバス停

見学コースとアクセスルートにより次の5つのバス停があります。

A) Baradra(バラドラ洞)シュートコース:

- ① Aggtelek, Kossuth u., Barlang bejárat út(コシュート通り洞窟入口)

Baradra 洞受付まで約 800m

- ② Aggtelek, Baradla-barlang (バラドラ洞前)

B) Vörös-tó 2 時間コース

- ③ Vörös-tó, barlang bejárat út (ヴェレシュ・トー入口)

Vörös-tó コース入口側最寄り(下記の注(*2)を参照のこと)

- ④ Josvafő, Szallo (Tengerszem ホテル・トレーニングセンター前)

Vörös-tó コース出口側最寄

- ⑤ Jósavafő, szálló bejárat út (Tengerszem ホテル・トレーニングセンター入口)

Vörös-tó コース出口から約 600m



アッグテレク鍾乳洞バス停留所と洞窟見学ツアーコース出入口位置概念図

2. アクセス時刻

2.1 ブダペストから直通バス

- ブダペスト・スタディオン・バスターミナル(Budapest Stadion) 6:15 発 Eger、Kazincbarcika 経由、Jósvafő 行きに乗車し、①または③停留所下車。復路は、①または④停留所から乗車。

ブダペスト・アッグテレク間直通バス時刻

毎日	停留所	毎日(*1)
6:15	Budapest Stadion	19:05
8:05/8:20	Eger	17:00/17:15
9:45/10:00	Kazincbarcika, autóbusz állomás	15:20/15:35
10:48	① Aggtelek, Kossuth u., Barlang bej. ut	14:34
(10:53)(*2)	③ Vörös-tó, barlang bej. út	(14:27) (*2)
10:57	④ Josvafő, Szallo	14:23
11:00	Josvafő, aut. vt.	14:20

(*1) 12 月 24 日に限り 30 分早く運行し、Gyöngyös バスターミナル経由で運転。

(*2) この便はブダペスト・ベースのバス会社による運行となるため、運転手に停車または乗車をリクエストする必要あり。

2.2 ミシュコルツからバス

- ミシュコルツ・バスターミナル 9:45 発 Aggtelek 行きの直通バスに乗車し、①停留所で下車。復路の直通バスは無いので Kazincbarcika で乗換となる。
- または、9:00 発の Kazincbarcika 行きに乗車し、終点でブダペストから来る 10:00 発の Josvafő 行きに乗り換え①または③停留所で下車。復路は①または④停留所から乗車。

ミシュコルツ・アッグテレク間バス時刻表

毎日	毎日	停留所	毎日
9:00	9:45	Miskolc, autóbusz állomás	16:17
9:47 乗換	-	Kazincbarcika, autóbusz állomás	15:30
10:00	-		15:20 乗換
10:48	11:28	① Aggtelek, Kossuth u., Barlang bej. ut	14:34
10:53	-	③ Vörös-tó, barlang bej. út	14:27
10:57	-	④ Josvafő, Szallo	14:23
11:00	-	Josvafő, aut. vt.	14:20

2.3 ミシュコルツから鉄道とバス

- Miskolc-Tiszai 駅から Tornádaska 行きに乗車し、Jósvafő-Aggtelek 駅下車。(Miskolc-Tiszai 駅はブダペストからの列車が到着)
- 駅前のバス停から、②行きに乗車し②または③下車。復路は、②または⑤停留所から乗車。



ミシュコルツ・アッグテレク間鉄道・バス時刻表

毎日	毎日	駅・停留所	毎日			毎日	毎日	
7:08	9:08	Miskolc, Tiszai 駅	16:55			18:58	20:55	
8:19	12:19	Jósvafő-Aggtelek 駅	15:38			17:38	19:38	
毎日(*3)	土日(*4)	乗換	(*6)	日曜	(*7)	毎日	平日	土日
8:25	12:25	Jósvafő-Aggtelek vasútállomás 駅前	14:22	15:13	15:17	17:13	19:17	19:18
8:55	13:25	⑤ Jósvafő, szálló bejárat út	14:03	14:43	14:48	16:43	18:58	18:48
8:57	13:27(*4)	④ Josvafő, Szallo	-(*5)	-(*5)	-(*5)	-(*5)	-(*5)	-(*5)
9:09	13:32	③ Vörös-tó, barlang bej. út	14:00	14:40	14:58	16:40	18:55	18:45
9:12	13:42	② Aggtelek, Baradla	13:50	14:30	14:45	16:30	18:45	18:35

(*3) 夏時刻中は④Josvafő, Szallo を経由。(夏時刻は3月最終日曜から10月最終土曜まで)

(*4) 夏時刻中の土日祝日と夏休中の平日運転。冬時刻中の土日も運転するが、④ Josvafő, Szallo を経由せず。

(*5) ④Josvafő, Szallo を経由しないので、⑤Jósvafő, szálló bejárat út から乗車。

(*6) 登校日

(*7) 土曜と夏休中(6月16日から8月31日)の平日運転

夏冬時刻や夏休みなど、バス運行に用いられるカレンダー

<http://www.volabusz.hu/en/domestictravel/timetables/calendar> (英語)

時刻表で使われているハンガリー語の意味:

- ・ autóbusz állomás: バスターミナル
- ・ bejárat út (bej. út): 入口
- ・ autóbusz-váróterem (aut. vt.): バス待合所
- ・ szallo: ホテル
- ・ vasútállomás: 鉄道駅
- ・ barlang: 洞窟

【コラム】ハンガリーのバカンス

飯田 愛紀

バカンスと言えば? ——バラトン湖!

そんな式が成り立つほどに、夏のバカンスをバラトン湖で過ごすというハンガリー人は多いだろう。

友人も例に漏れず、バラトン湖へ向かう数日前から「晴れて晴れて晴れて!」と呪文のように繰り返していた。更には「明後日からノーウォーク」「明日からノーウォーク」と休日を日々切望している姿を見るにつけ、バカンスに対する情熱と僅かばかりの国民性の違いを感じたものだ。

かくして彼女の願いは届き、晴天でバカンスを迎えた私たちは水と少しの食料を車に積んで意気揚々とバラトンへと向かった。たまたま私の滞在と友人の休暇が重なった今回の小旅行。これ以上ない“ハンガリーらしいバカンス”に否応なく私のテンションもあがっていく。



まさに“海”だ。

目的地である“バラトンアリガ”に着いた時には既に陽は傾きかけていた。さっそく荷物を置いて湖畔に出てみる。「はじめてのバラトンはどう？」友人の声にとっさに答えられなかったのは、目の前の夕焼けがあまりに美しかったためだろう。内陸のハンガリーにあっては“海”と称されるバラトン湖であるが、やはり潮の二オイは全くせず、波もなく、穏やかな“海原”を前に明日からの日々に思いを馳せた。

翌日、快晴。天気運はツイているようだ。

なんと言ってもバラトン湖での楽しみの一つは日光浴であるが、そこは美白命の日本人。日焼け防止に余念のない私を友人たちはしきりに不審がり、説明には苦心した。私からすれば全身を真夏の太陽に晒すのは自殺行為に等しいのだが——、彼女たちはそんな事などこ吹く風で惜しげもなく肌を晒し、心地良さそうに太陽を浴びている。青々とした草木に囲まれ、太陽はポカポカと気持ち良く、私としては恐る恐る開始した日光浴だったが次第にとっても心地良くなってしまった。

ただひたすら寝そべて時を過ごす。なんて贅沢な時間の使い方だろう。常に時間に追われているような日本とは時の流れ方さえ違っているかのようだ。少しの日焼けくらいどうでもいいじゃないか。本当にそう思えた。

うたた寝を繰り返し、起きては泳ぐを繰り返し。あつという間の一日だった。

バラトン湖は波もなく、淡水であるため非常に泳ぎやすい。夕焼けを眺めながらの散歩も格別だ。——はじめてのバラトンはどうだった？ おそらく、いま問われても名状しがたい。ただ、ハンガリーの人々がここで過ごすバカンスを心待ちにしている気持ちは理解できたように思う。日々の煩わしさなど小さなこと。そんな風に思わせてくれる空気と時間が、ここには確かに流れていたのだ。



夕暮れ時はまた格別。